

JST/RISTEX 研究開発プログラム「科学技術と社会の相互作用」
平成21年度採択研究



アクターの協働による双方向的リスクコミュニケーションのモデル化研究



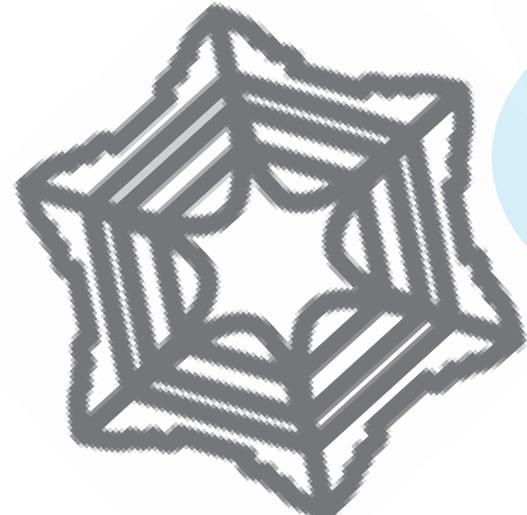
RIRiC

はなしてガッテンプロジェクト

Remodeling Interactive Risk Communication based on Actor's Spontaneous Cooperation



RIRiC「はなしてガッテン」プロジェクトは、
市民が参加する双方向的なリスクコミュニケーションについて研究し、そのモデル化を目指すプロジェクトです。





1 プロジェクトの趣旨

私たちは科学技術の発展による恩恵を受けながらも、漠然とした不安を抱えて日々暮らしています。科学技術が私たちの生活に多くの利便性をもたらすと同時に、様々な危険性やリスクをもたらす可能性があるからです。このような社会の中で、新しい科学技術とどのようにつきあっていくのか、専門家だけに任せるのではなく多様な立場の市民が共に同じ場で考える必要があるのではないのでしょうか。

いわゆる「リスクコミュニケーション」とよばれる場を経験した人々の多くは、それが情報を持つ側の持たない側に対する一方的な「説得」的作業にしかになっていない、との印象を持っています。さらに、たとえ形式的に「合意」が形成されたように見えたとしても、情報の発信側と受け手側の双方が、心の中に何かしらの後味の悪さを残していることが多いように見えます。

ここ北海道では、遺伝子組換え (GM) 作物の栽培を考えるコンセンサス会議が北海道庁主催で開催され、道民委員による市民提案は、道の施策検討の参考として活用されました(2007.3)。しかし、このような取り組みは少数です。

そこで、本研究プロジェクトではBSE全頭検査、GM作物などの問題を取り上げ、説得ではない「納得」に基づくリスクコミュニケーションの新しいあり方をつくりあげます。そのためには、生活者の視点で、様々な立場(消費者、生産者、食品加工・流通業者、研究者)の人たちや行政、メディアとの協働を通し、これからのリスクコミュニケーションのあり方や意味を問い直すことが重要です。そこから、信頼に足る「納得」に基づく合意形成の姿が見えてくる、と考えています。

2 研究の構想



(1)【対話手法の選択と確立】

BSE全頭検査を題材に、科学と政治が複雑に絡み合った問題について、関係者の対話の場を作る。

(2)【社会リテラシーと科学リテラシーの接合】

GM作物に関して、研究者や生産者、一般市民などの交流の場を作ると共に、学習会を組み込んだ熟議の場を作り、関心や討論の枠組みを共に考える。

(3)【メディアとの協働】

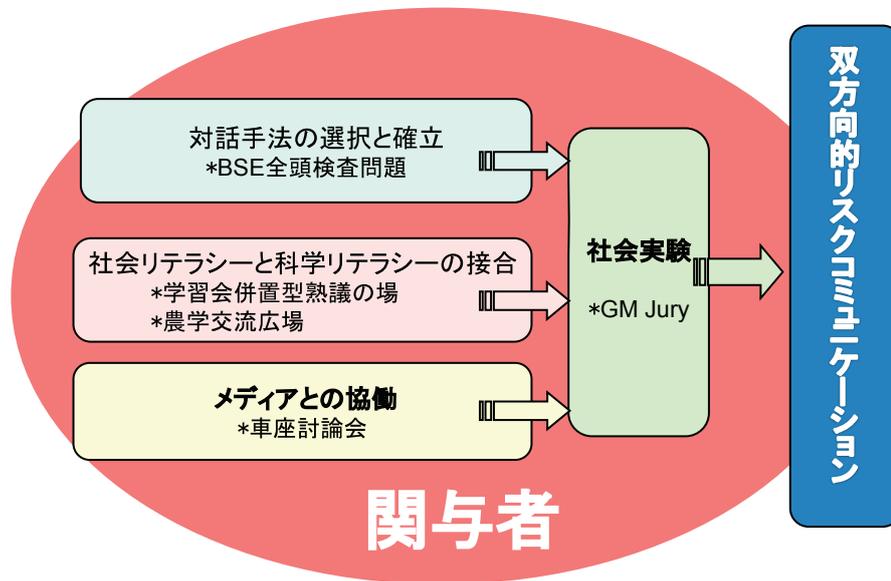
社会的・文化的価値が絡む複雑な問題について、報道する側のメディアの苦慮や情報を受け取る側が感じた想いを語る場を設け、このような問題における持続的な情報の共有や発信の場を作る。

(4)【社会実験】

関与者らの協働による北海道に根ざした「GM juryを実施し、その結果を「北海道食の安全・安心委員会」につなげるよう働きかける。

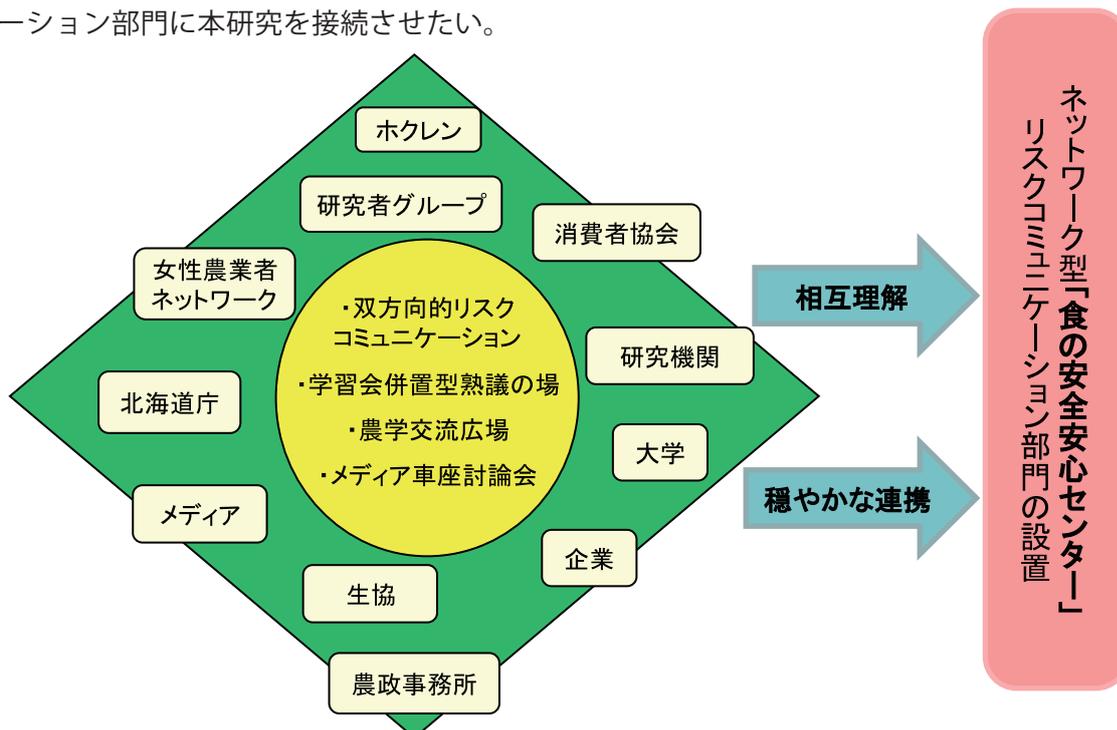
(5)【モデル化】

双方向的リスクコミュニケーションのあり方を提言としてまとめ、各方面に発信する。



3 将来的な目標

農や食の現場において何らかの問題が起こった時、あるいは起こりそうな時、行政や学会及び産業界とは一線を画した中立的環境の中に、メディアを含む関係者のすべてが冷静に問題と向き合うことができる「場」を構築したい。大学、行政及び道立研究機関、産業界及び民間研究機関との連携による「ネットワーク型食の安全分析センター」構想が大学内にあり、安心をどう担保するかを担うリスクコミュニケーション部門に本研究を接続させたい。





研究代表

飯澤 理一郎 (北海道大学農学研究院)

専門は農業市場学。一見、人のよい山形県人をのふりをしているが、実は、……。甘く見てはいけません。

研究参加者

上田哲男・大原真紀・平川全機・山際睦子(北海道大学)、門平睦代(帯広畜産大学)、信濃卓郎(北農研センター)、芝池博幸(農業環境技術研究所)、丸子剛史(北海道庁)



研究分担者

柝内 新 (北海道大学院理学研究院)

専門は動物発生学。シロクマ大好き、静電気大嫌いな「5号館のつぶやき」で知られるアルファブロッガー。



研究分担者

吉田省子 (北海道大学農学研究院)

専門は科学史。いつも笑顔で穏やかだが、怒ると怖い。パソコンを車で轆いた経験をもつ数少ない人物。



RIRiC「はなしてガッテン」プロジェクト事務局

〒060-8589 札幌市北区北9西9丁目
北海道大学農学研究院 札幌サテライト内

電話:011-706-2405 / ファクシミリ:011-706-4129
電子メール:riric@agr.hokudai.ac.jp

ホームページ:<http://www.agr.hokudai.ac.jp/riric/>
ブログ:<http://riric3.blog109.fc2.com/>

